

ボランティアサポーター修了者の会の結果について

会議の結果は、次のとおりです。

(敬称略・順不同)

ボランティアサポーター修了者の会 記録	
日 時	平成30年7月4日(水) 14時～15時30分
場 所	日高市総合福祉センター 会議室C
出席者 (15名)	岩木隆夫 倉嶋道子 出野與作 石井靖生 畑中博 田中厚子 三田茂 平井久美子 金指恵理子 田中まどか 田中悠子 江下佳代 山口じゅん 土谷秀子 矢野弓子
事務局 (6名)	埼玉県 共助社会づくり課 担い手支援担当 吉野主査 日高市役所 総務課 市民活動・人権推進担当 上田主幹 田村主査 日高市社会福祉協議会 地域福祉係 鹿山 企画総務係 小野寺係長 田川
審議事項 及び決定 事項	<p>議題</p> <p>1 はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日のめあて ①ボランティアサポーターの役割を知っていただく ②ボランティアサポーター同士の交流 <p>事務局より、本日の会の目的と内容を説明した。</p> <p>2 ボランティアサポーターについて～手のひらサイズの地域への扉～ 事務局より資料「ボランティアサポーターについて～手のひらサイズの地域への扉～」に沿い、ボランティアサポーターについて説明をしボランティアサポーターの役割、組織化、今後の日程について説明した。(小野寺、田川)</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>(出席者) このボランティア講演会は社会福祉協議会と日高市役所総務課でやる認識で良いのか。</p> <p>(事務局) そうである。年度末ではなく年末で企画をする。</p> <p>(出席者) 日高ボランティアネットが立ち上がったようだが、現状どういうものなのかが分からない。どこまでを目指すのか。</p> <p>(事務局) 基本システムは完成しているが、付加機能としてボランティアを希望しているかたに、希望しているボランティアの情報が入ったことを自動で返していけるように業者と詰めている。この付加機能を10月に完成できるよう進めている。現在、情報は入れられるが、その情報を返し手動のために返すことが難渋している現状である。なので、</p>

	<p>市民へのPRはまだできず、今の所ボランティアの情報も足りないため、実績が無い現状である。現在、夏に行われる彩の国ボランティア体験プログラムで20メニューが揃っており、その情報の追加を進めていく。</p> <p>(出席者) ボランティアといえども、自分の予定が空いている時にやりたい人が多く幅は広い。そこで、ボランティア各団体に1日体験を提案しそれができるかどうかを聞くのも大事なのではないかと。それをシステムに加えてほしい。</p> <p>(出席者) みんなひろ(みんなの広場 in 日高)のTwitterでFacebookと連動できる仕組みを行っている。みんなひろで既に持っているデータもあるので、そのデータを入れても良いのでは。できれば、日高ボランティアネットとみんなひろのTwitterを連動させてほしい。予算がいるなら予算化して行うか、手元でできるか確認してほしい。</p> <p>(出席者) ボランティアサポーターズクラブとみんなひろの活動が重複している。どのように住み分ければ良いのか。個人的には重複しても良いとは思いますが、どう立ち回れば良いのか。</p> <p>(事務局) 建物で例えれば、みんなひろが1階部分、ボランティアサポーターズクラブが2階部分の2階構造で考えている。</p> <p>3 情報交換 今回参加した参加者、一人ひとりに1分半を持ち時間として一言付の自己紹介をし、埼玉県共助社会づくり課担い手支援担当の吉野主査よりアクティブシニア事業について資料に沿って説明した。</p> <p>4 次回の予定 次回の説明と、日時が決まったら通知することを伝達し、閉会した。 閉会</p>
記録者	田川(社会福祉協議会 企画総務係)